

戦後70年平和祈念映画

山本慈昭

日本PTA全国協議会特別推薦
長野県社会福祉審議会児童福祉専門分科会推薦

望郷の鐘

満蒙用拓団の落日

中国残留孤児の父・山本慈昭

「中国残留孤児の父」といわれた山本慈昭。みずからも満州で過酷な体験をしながら、生涯を残留孤児たちの肉親さがしにささげ、献身的な愛でささえた。その山本慈昭の生涯を生い立ちからたどった感動の物語。



常盤貴子

福原圭一
南原健朗
仁科貴
遠藤淳一
坂口健太郎
飯沼桃子
安田陽子
サコイ
夏野まあや
小松美幸
小林美幸
小川唐平
池崎ほな
田原幸祐
松本大輔
上野重典
池田勇雄
山田幸輝
棚田将知

李麗仙
星奈優里
斎藤洋介
小倉一朗
堀内正美
磯村みどり
勝又さゆり
神田さち子

内藤剛志
渡辺梓
山口馬木也
市川笑也
奥寺康彦

エグゼグティブプロデューサー

監督 | 山田火砂子

プロデューサー | 国枝秀美
協力プロデューサー | 高瀬博行
原作 | 根本 和雄『望郷の鐘』(1988年)
脚本 | 来野一幸
山田火砂子
中村敦夫
音楽 | 後藤やすこ
主題歌 | 「僕たちは忘れぬ」 朱花
(オリジナル・バージョン)
撮影 | 長田勇市
録音・監音 | 沼田和夫
助監督 | 東條政利
美術 | 津留啓亮
装飾 | 田中真也
編集 | 岩谷和行
効果 | 柴崎憲治
衣裳 | 佐藤真彦
ヘアメイク | 小野なな
制作 | 謝環代(ぶらぐらぶ) 村上光田
協力 | 豊光寺 長瀬 村上光田
協力 | 阿部村
演劇部(昭和記念館)
飯田日中友好協会
星神温泉観光局
山本慈昭『望郷の鐘』映画制作を支援する会



あらすじ

山本慈昭は長野県下伊那郡会地村にある長岳寺の住職であり、国民学校(現在の小学校)の先生でもあった。昭和二十年五月一日、敗戦間近に村長に説得され、一年だけと言う約束で満州へ渡る。

八月九日に、日ソ不可侵条約を破ってソ連軍が一方的に攻めてくる。八月十五日の敗戦もわからずに逃げ廻るが、女子供を抱えてシベリア国境近くの北哈嗎の町より逃げても、なかなか先に進まない。列車もなく、橋は関東軍が逃げる時に壊して行き、平原を歩くとロシア兵に捕まるので山の中を歩き、食料もなく死の旅であった。或る日、慈昭達一行はロシア兵に捕まり勃利の街の収容所に入れられ、16歳以上の男性はシベリアに連れて行かれる。極寒の中、労働をさせられた慈昭は、奇跡的に一年半後に日本に帰国する事が出来た。長岳寺に辿り着くと、妻と子供達は亡くなったと知らされる。

世の中が民主主義となり、大きく変わりつつある頃、慈昭は開拓団の仲間達の辿った運命を『阿智村・死没者名簿』としてまとめる。同じ頃、天台宗・半田大僧正に会い長野県日中友好協会会長を引き受ける事を聞き、平岡ダム建設のため強制連行された中国人の事を知り、遺骨を本国へ返す運動に力をそそぐ。

中国を訪れてから一年あまりがすぎた頃、慈昭のもとに一通の手紙が届く。手紙は日本人孤児からの物で、戦争で離れ離れになってしまった子供達が、両親を恋しく思い、再会したいという気持ちが詳しく書いてあった。慈昭は、満州で沢山の日本人が優しい中国人によって育てられている事を知り、孤児達の日本帰国救済運動を始める…。

満州国とは、日本が中国の東北地方に建てた傀儡国家で、一九三二年から一九四五年まで存在しました。この映画のテーマは『国家が総力を挙げて作り上げた大きな嘘は、いつの時代でも見破るのは容易ではない。そして、それに従った開拓団も義勇軍も客観的には侵略者であったと言う事実は打ち消せない。国家の政策に純粋に協力しただけと言っても、この事実は一人ひとりが責任を問われる事になる。国家に尽くした日本国民は、加害者であって被害者であったのです』という言葉です。

日本国民は全員手をつなぎ戦争をしない、平和国家を作っていきたいとこの映画を作ります。

監督 山田火砂子

日 時 2016年5月15日(日)

第一回 午前10時15分～ 第二回 午後1時30分～ (開場 15分前)

場 所 穂の国とよはし芸術劇場 プラット

チケット 前売券 一般 1,000円 「当日券 一般 1,200円」 大学生～小学生 500円

チケット取り扱い /プラットチケットセンター TEL:0532-39-3090 <http://toyohashi-at.jp>

豊橋ユネスコ協会 会員

主 催 豊橋ユネスコ協会

後 援 豊橋市 豊川市 田原市 蒲郡市 豊橋市教育委員会 豊川市教育委員会 田原市教育委員会

蒲郡市教育委員会 豊橋信用金庫 豊川信用金庫 蒲郡信用金庫 朝日新聞社 毎日新聞社

中日新聞社 東愛知新聞社 東海日日新聞社 豊橋ケーブルネットワーク FM豊橋 コープあいち

問い合わせ先 豊橋ユネスコ協会 上映担当 木村 E-mail eigabokyo@yahoo.co.jp

お 願 い お越しの際は、公共交通機関の利用をお願いします。

車でお越しの方は、駐車場の割引が利用できます。(公共第一・第二駐車場、パーク500)